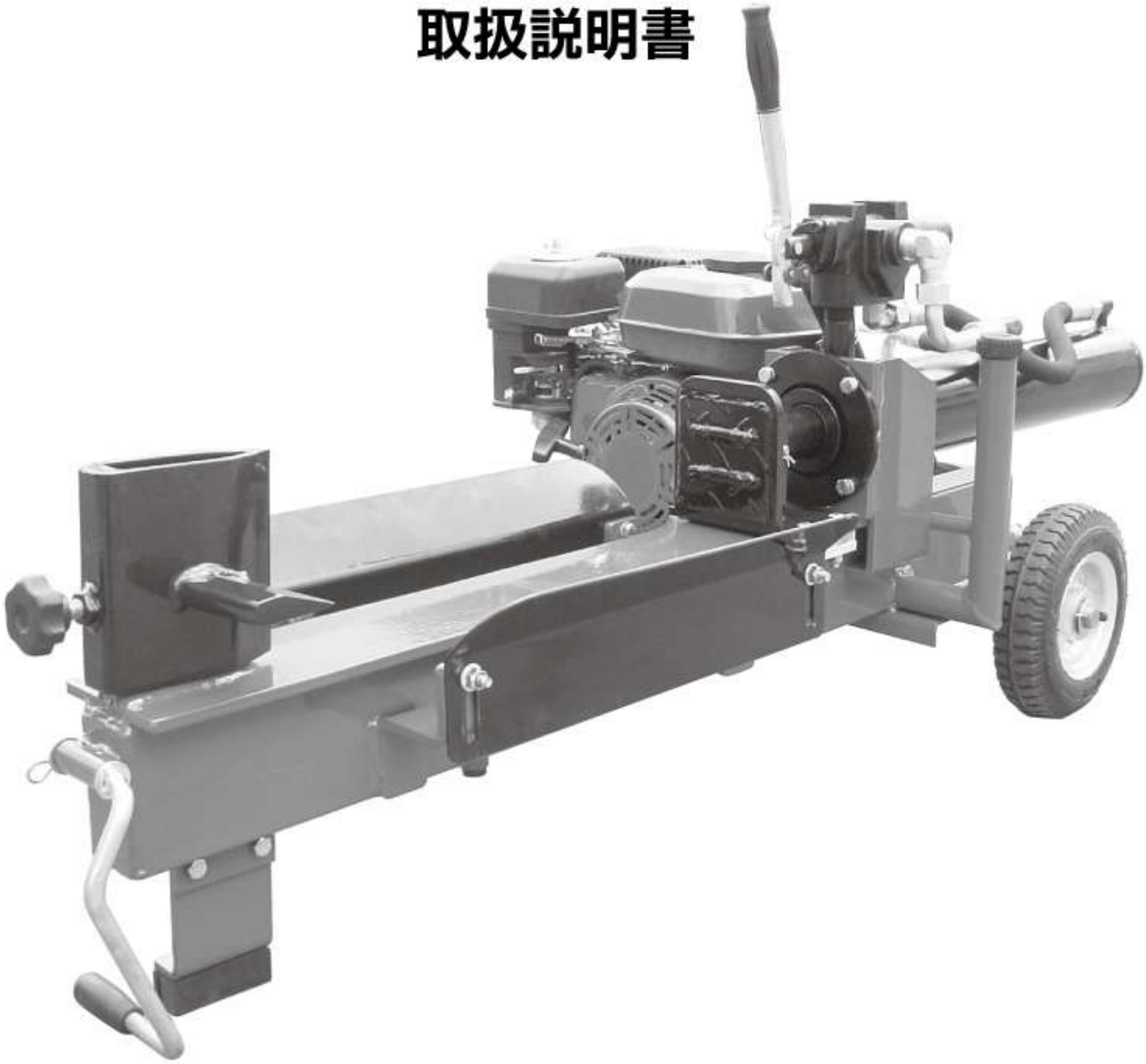
NAKATOMI

エンジン薪割機 ELS-7T

このたびは弊社エンジン薪割機をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
ご使用前には必ず取扱説明書をお読みください。なお、取扱説明書は大切に保管してください。

取扱説明書



■電源の無い屋外・山林での作業に

■タイヤ付きで移動が簡単

■７ｔのパワーでらくらく薪割り

■四分割カッター標準装備

安全上の注意事項

◆ご使用になる前に安全上の注意事項をよくお読みになり正しくお使いください。
◆ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や物的損害に結びつく重大な内容を記載しています。
◆読み終わった後は、お使いになる方がいつでも見ることのできる場所に保管してください。
◆本機を譲渡される際は、必ず取扱説明書を付けてお渡しください。

【表示と意味】

⚠警告	使用を間違った場合に、使用者が死亡または重傷、及び物的損害が想定される内容を表記しています。
⚠注意	使用を間違った場合に、物的損害や傷害を負う危険性がある内容を表記しています。

⚠警告

●エンジンは作業機に搭載した状態で使用できるように作られていますので、絶対にエンジン単体で始動させないでください。
●エンジンを始動させる前には必ず各部の点検を行ってください。
●運転操作のわからない人、指導を受けていない人には絶対操作させないでください。特にお子様は危険です。
●本機に付いているカバーやラベル類、その他の部品を外して使用しないでください。また改造は絶対にお止めください。
●疲れているときや体調の悪いとき、酔っているとき、薬を服用しているときなど、正常な判断ができない状態にあるときは絶対に使用しないでください。
●エンジン音の異常や作業中に異常を感じた際は、使用をすぐに止め、お買い求め販売店に点検または修理を依頼してください。
●ガソリンは非常に引火性が高く、気化したガソリンは爆発事故を起こす恐れがあります。燃料補給の際は、必ずエンジンを止めて完全にエンジンが冷えた後、周りに火気が無いことを確認して行ってください。
●燃料補給の際や燃料タンクの側では絶対にタバコを吸ったり火気を近づけたりしないでください。
●燃料はこぼさないように注意してください。もしこぼしてしまった場合には、こぼしたガソリンをよく拭き取り、完全に乾燥させた後でご使用ください。
●屋内や倉庫内、トンネル内、軒下等、換気の悪い場所では使用しないでください。一酸化炭素が溜まり、ガス中毒の原因となり大変危険です。
●風通しの悪い場所や排気のこもる場所でもガス中毒の原因となりますので、そのような場所でも使用しないでください。
●側にもののある所に設置する場合には、火災防止のため最低１ｍ以上離して設置してください。本機との間に１ｍ以上の間隔が取れない場所では絶対に使用しないでください。火災や事故の原因になります。
●本機の周りに、おがくずや紙等燃えやすいもの、石油・シンナー等の揮発性可燃物、火薬等の爆発物は近づけないでください。爆発事故や火災の原因となります。
●運転中・使用後いつでも、本体の上に物を置かないでください。破損や故障、思わぬ事故の原因となります。
●使用後すぐにエンジンやマフラー、またはその周辺に触れないでください。熱くなっておりヤケドやケガの原因となります。
●運転中、高電圧コードやプラグキャップに触れないでください。感電の恐れがあります。

⚠警告

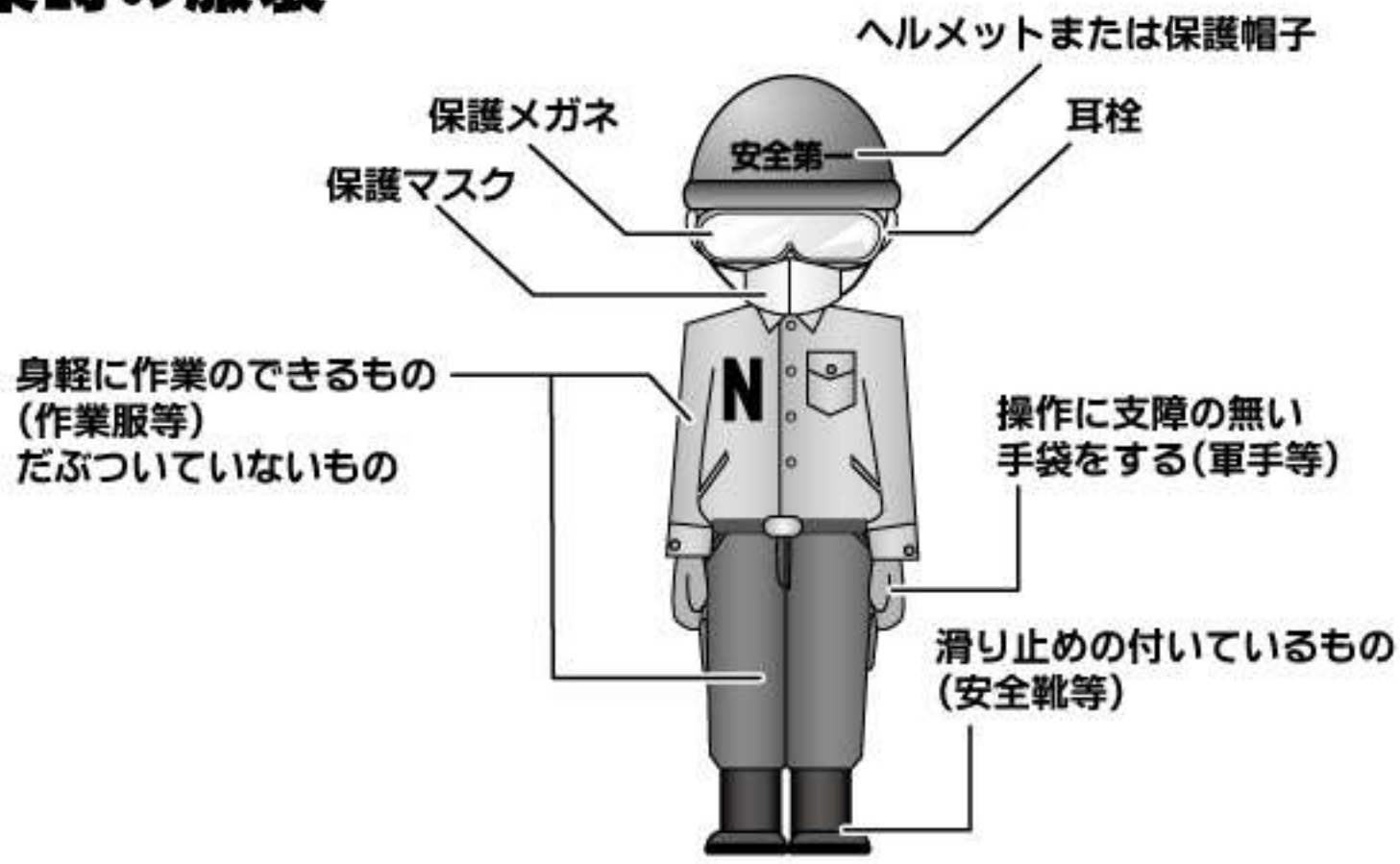
●製品は運送途中の衝撃等により破損したり、取付部品が曲がったりする場合がありますので、ご使用前に必ず確認し、正規の状態でご使用ください。
●調整用スパナ・レンチ・ドライバー等の工具類は、使用後すぐに外してください。エンジンを始動する前には、それらが必ず外してあることを確認してください。
●本機が作動しているときは、プレート上の薪やプッシャー・切断カッターに触れないでください。
●本機は牽引して移動させないでください。

⚠注意

●使用時、ガソリンは常に新しいものを使用してください。古いガソリンを使用しますと、運転が不調になる原因となります。
●リコイルスターターや冷却フィンの周りに付いたゴミは取り除くようにしてください。
●安全な作業をするためには、作業場所は常に整理をし、充分な採光が必要です。散らかした作業場所は事故の原因となります。
●作業中、本機を無人で放置しないでください。
●本機を使用する際は、安全のため、人や動物を遠ざけてください。
●作業能率や安全のため、取扱説明書に従い各部の部品が正常か、しっかりと取り付けられているか確認してください。

※注意に表記してあるものでも、状況によっては死亡・重傷等、重大な事故につながる恐れがありますので、必ず守ってください。

⚠作業時の服装



上記のような動きやすい服装で作業を行ってください。

仕様

エンジン形式	空冷4サイクルガソリンエンジン
排気量	118ml
定格出力	2.2kW（3PS） / 3600min^{-1}
使用燃料	無鉛ガソリン
タンク容量	2.6L（レベルゲージ位置1.5L）
エンジンオイル容量	0.6L
点火プラグ	NGK　BP6ES
始動方式	リコイルスターター
油圧作動油量	封入量：約3.8L
油圧作動油粘度	ISO　VG32
破砕最大寸法	直径350mm×長さ460mm
最大破砕力	7t
サイクルタイム	約20秒（無負荷）
本体寸法	W1350mm×D700mm×H650mm
質量	約82kg

※製品は改良等のため、予告無く外観・仕様等を変更する場合があります。

標準付属品 ※大きさは実寸比と異なります。

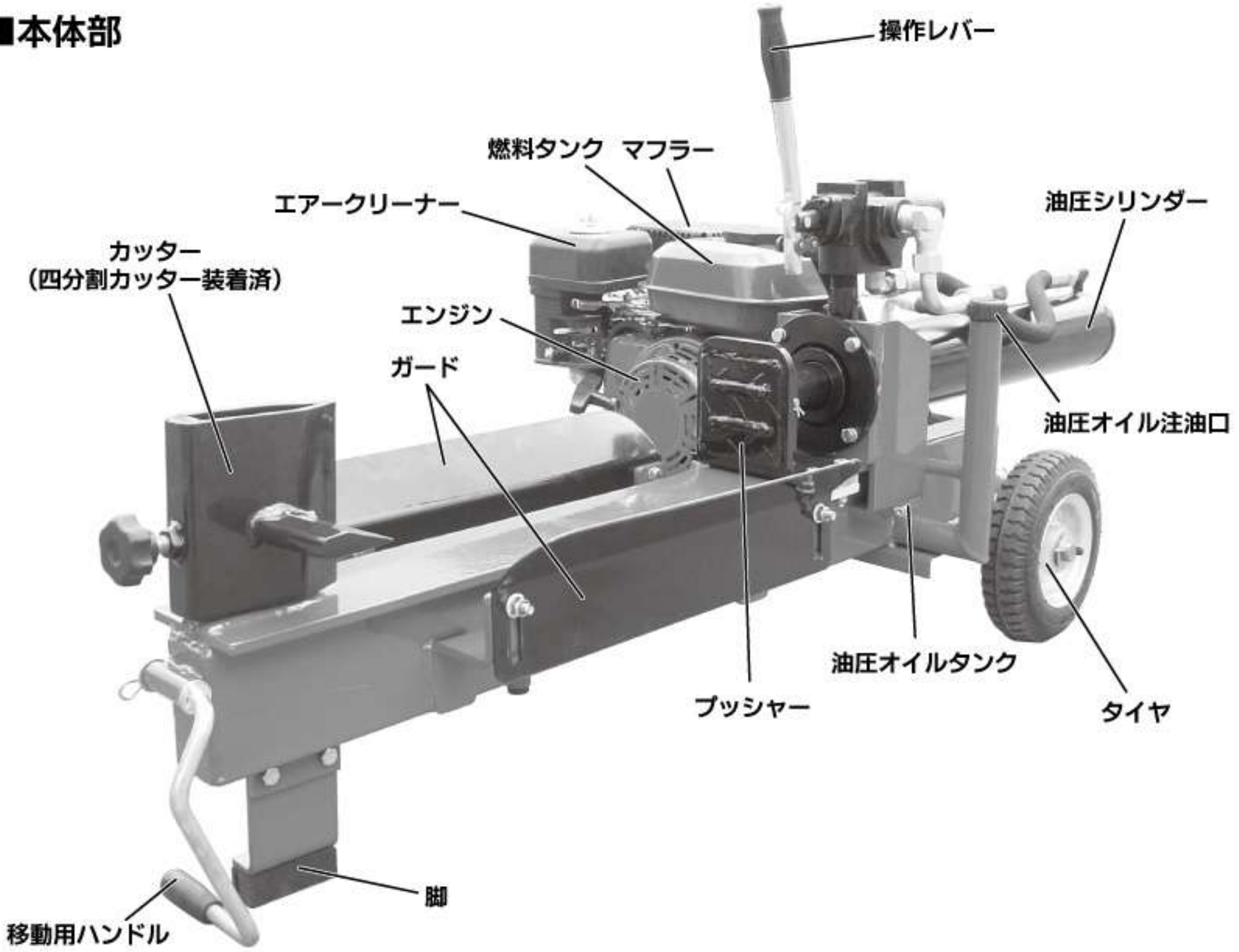
四分割カッター　×1

プラグレンチ　×1

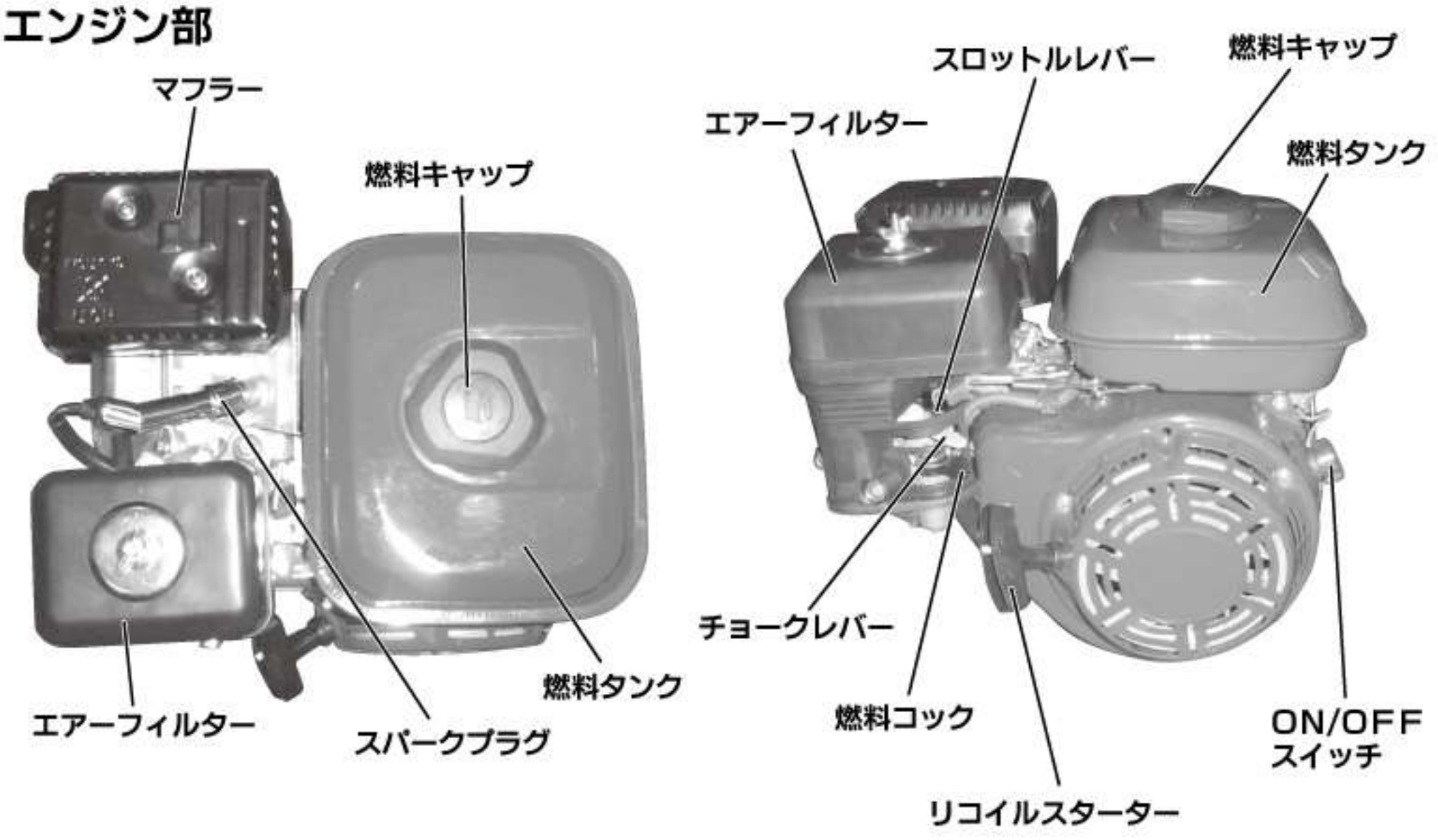
オイルゲージ付きキャップ　×1

各部名称

■本体部



■エンジン部



組立方法

■操作レバー

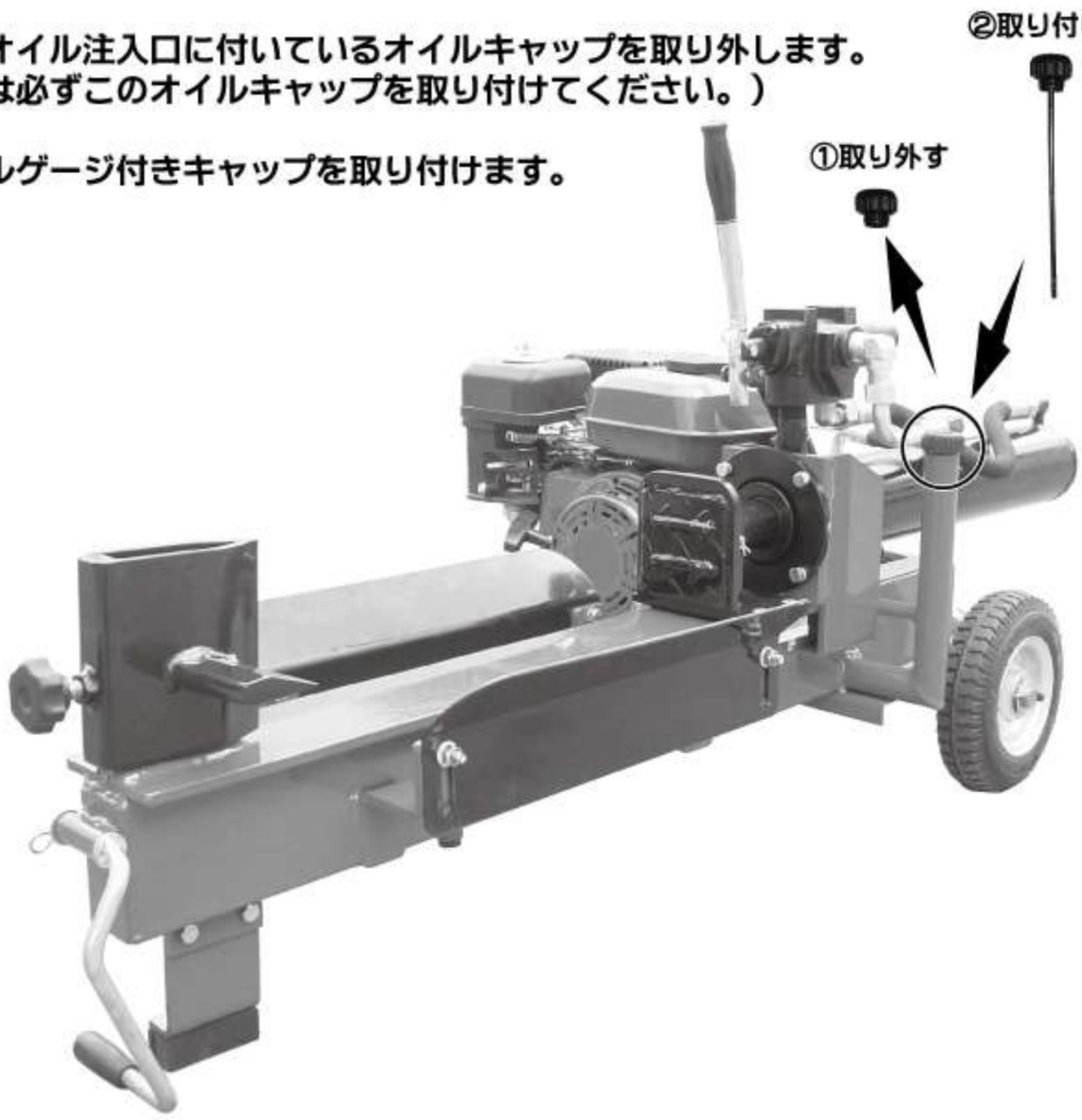
①本体操作部のジョイントバーと止めピンを外し、操作レバーを起こします。

②操作レバーを起こしたままジョイントバーを差し込み、止めピンでしっかりと固定してください。
※止めピンは必ずしっかりと差し込んでください。

■オイルゲージ付きキャップ

①本体の油圧オイル注入口に付いているオイルキャップを取り外します。
（輸送時には必ずこのオイルキャップを取り付けてください。）

②付属のオイルゲージ付きキャップを取り付けます。



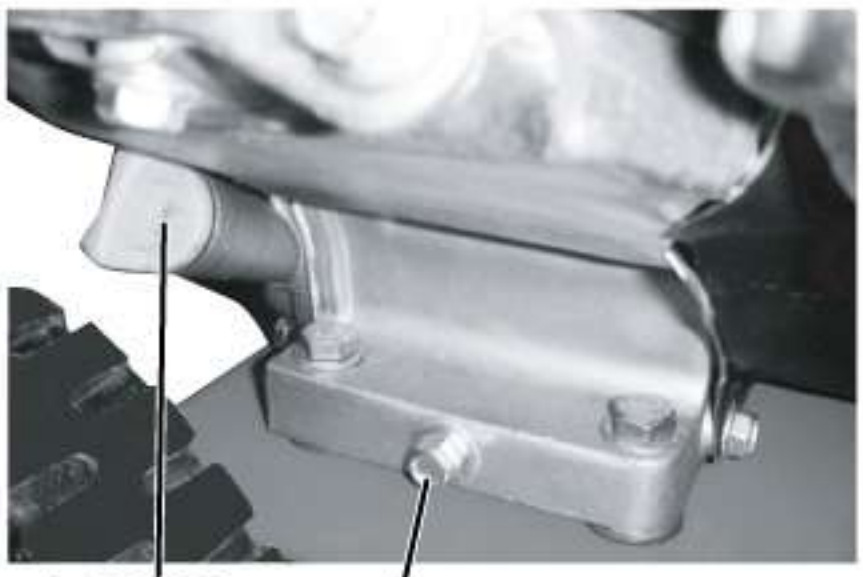
ご使用前に

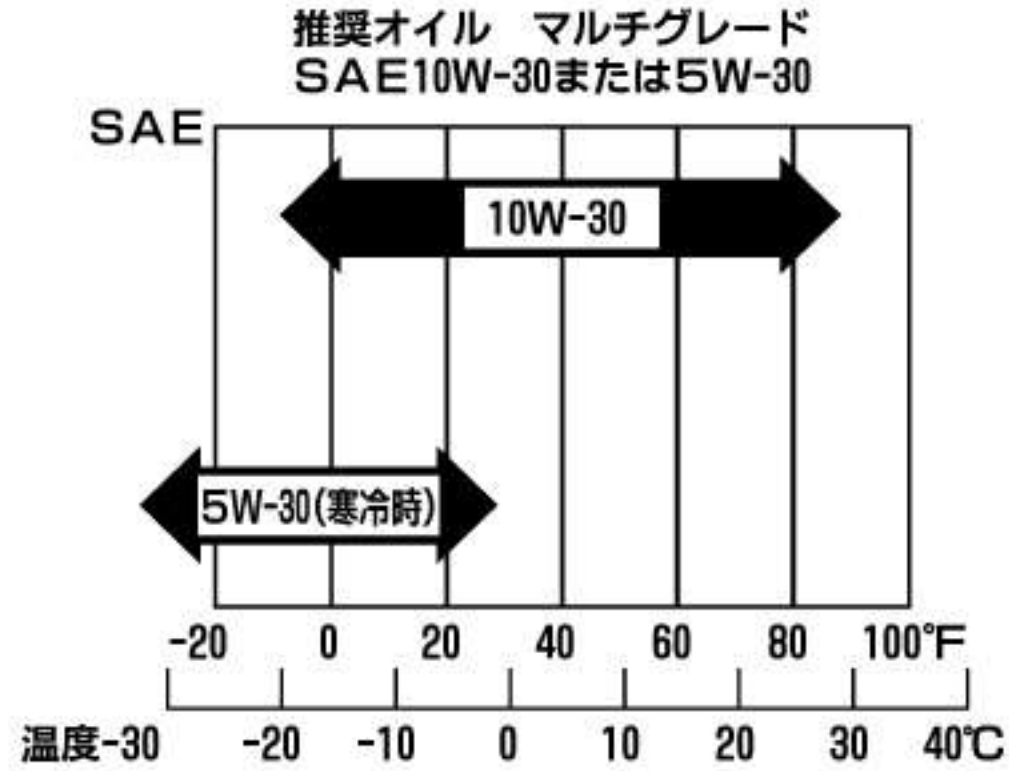
■エンジンオイル量の確認

●出荷の際にエンジンオイルは注油されておりますが、安全な作業を行うために、ご使用前には必ずエンジンオイルの量を確認してください。

【エンジンオイル検知器】
次のような場合には検知器が働き、エンジントラブル(焼き付き等)を防ぐため、エンジンが始動せず、また、運転中の場合はエンジンが停止します。
A　エンジンオイルの量が少ない
B　運転中にエンジンオイルが減ってきた
C　本体が大きく傾斜している
D　その他の原因によりエンジンオイル量が規定量未満になっている
上記の場合には、再度エンジンオイルの量が規定量入っていること、設置場所が水平な場所であることを確認してから運転を再開してください。

※エンジンオイル検知器はオイルの劣化を検知するものではありませんので、オイル交換は定期的に行ってください。



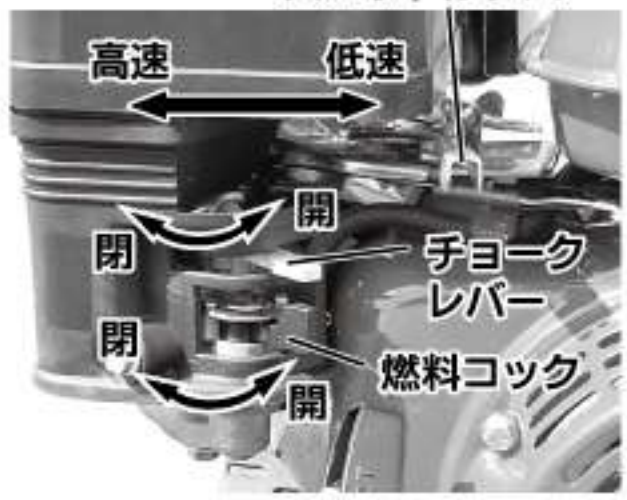


※オイルは使用しなくても自然に劣化しますので、定期的に交換してください。(初回は運転時間25時間程度、その後は6ヶ月毎もしくは運転時間50時間程度を目安にして交換してください。)
※廃油は法令に従って適切に処理してください。不法投棄は絶対にしないでください。

使用方法

■エンジンの始動

①エンジン本体に付いているON/OFFスイッチをONにします。
②エンジンを始動させるときは、燃料コックを開側にし、チョークレバーを閉側にしてください。
※エンジン始動後は調子を見ながらチョークレバーを少しづつ開の位置に戻してください。
※特に寒い状態で始動させるときは必ずチョークを閉じてください。
③スロットルレバーを半分ぐらいまで開き、本体を固定しながらリコイルスターターのノブを引いてください。
④エンジン始動後はスロットルレバーを必要とする回転数に調節してご使用ください。
※作業を中断するときは必ずスロットルレバーを低速にしてください。



■操作レバー(前進)

●薪に節がある場合は、節から切断カッターを逃すようにセットしてください。
●操作レバーを前に倒すと、プッシャーが前進します。
※薪を割り切るまで操作レバーを倒し続けてください。

前進の位置まで倒してください。

■操作レバー(停止・ワンタッチ後退)

●薪が割れましたら、操作レバーを停止位置に戻してください。
●ワンタッチ後退の位置までレバーを引くと、プッシャーがスタート位置に自動で戻ります。

ワンタッチ後退の位置までレバーを引きますと、
プッシャーがスタート位置まで自動で戻ります。

薪が割れましたら、停止の位置に戻してください。

⚠注意	すべての薪を割った後やその場を離れる際には、必ずエンジンを切ってください。

■四分割カッター

●本機には四分割カッターが標準で付属しております。用途に合わせてご使用ください。
（硬い木材の場合、四分割カッターでは割りづらい場合がありますのでご注意ください）

●本体カッターの上から被せて、背面の固定ネジでしっかりと固定してください。

※四分割カッターを装着しますと、最大破砕寸法が変わります。

四分割カッター装着後最大破砕寸法
直径250～300㎜×長さ420㎜

■エンジンの停止

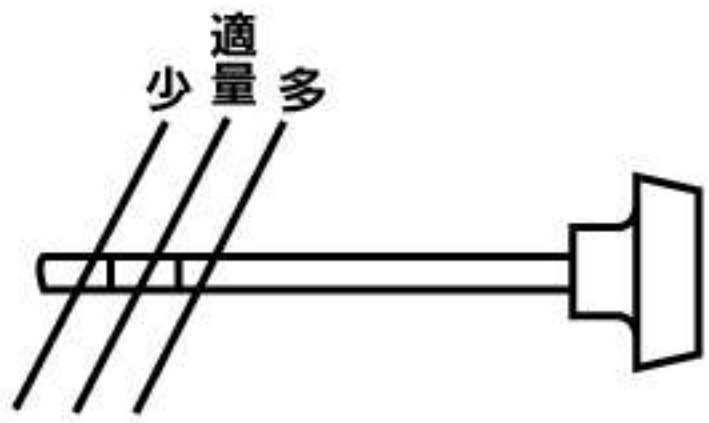
●エンジンを停止する際は、スロットルレバーを低速にして１～2分位運転した後、エンジン本体に付いているON/OFFスイッチをOFFにするとエンジンが停止します。

⚠注意	使用後、すぐにエンジンやマフラー周辺を触らないでください。大変熱くなっており、ヤケドやケガの原因となります。

調整とメンテナンス

■油圧オイル量の確認

●オイルキャップ(オイルゲージ付き)を外してオイル量を確認してください。オイル量が足りない場合には、指定オイルを足してください。



【指定オイル】

油圧作動油粘度
ISO VG32

油圧タンク容量
約3．8L

■エアーフィルター

●エアーフィルターの汚れを確認してください。
①フィルターカバーを固定しているネジ・フィルターキャップを外します。
②スポンジフィルターに付着しているゴミやホコリを払います。
※エアーフィルターが汚れていると、エンジンの始動不良や出力不足等の原因となりますので、エアーフィルターは綺麗にしておいてください。

◆スポンジフィルターの清掃
金具を取り外し、スポンジフィルターを取り出してエンジンオイル等で洗浄し、固く絞ってから取り付けてください。

■保管時の注意

●長期間（30日以上）使用しない場合には、燃料タンク内のガソリンは必ず使い切ってください。
ガソリンの劣化により始動不良になります。

■その他の注意事項

●定期的にマフラーの点検、各部のナット・ネジ類のゆるみがないかの確認、燃料・オイル漏れがないかの確認を行ってください。
●本体各部についたゴミやホコリはきれいに拭き取ってください。
●水洗いはしないでください。

トラブルの原因と対策

トラブル	原　因	対　策
エンジンがかからない、またはすぐに停止する	・燃料が無い ・燃料が古く腐っている ・燃料の吸い込みすぎで点火プラグが濡れている ・燃料パイプが折れている、または外れている ・点火プラグが汚れている ・点火ミスをする ・エアーフィルターが汚れている ・マフラーにカーボンが詰まっている	・燃料を補給する ・新しい燃料に交換する ・点火プラグを外し、リコイルスターターを５・６回引いて点火プラグを装着し、再度、エンジンを始動させる ・燃料が流れやすいように燃料パイプを調整する ・点火プラグを掃除または交換する ・点火プラグを交換する ・エアーフィルターを掃除する ・マフラーの掃除・カーボン除去
薪が割れない	・油圧作動油が不足している ・油圧作動油が劣化している ・油圧装置の故障	・油圧作動油を補給する ・油圧作動油を交換する ・お買い上げ販売店に相談する

株式会社 ナカトミ
●商品についてのお問い合わせは「お客様相談窓口」までご連絡ください。
お客様相談窓口　TEL.026-245-3105　FAX.026-248-9615
〒382-0836　長野県上高井郡高山村大字高井6445番地2
商品紹介や取扱説明書のダウンロード等⇒HP:http://www.nakatomi-sangyo.com

2010.04